

# 第30回「私たちと農業・JA」意見文 2年連続最優秀賞受賞の快挙！

令和4年2月4日（金）、JA新潟中央会主催第30回「私たちと農業・JA」意見文の表彰式が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、受賞者の学校でオンラインで表彰式が行われました。今年度は、新潟県内の高校8校から延べ932点の応募があり、各校の校内予選を通過した55点から最終審査が行われました。

審査の結果、生物資源科3年農業生産コースの大塚鈴純さんの「農業やる若者カッコイイね！」が最優秀賞を受賞しました。おめでとうございます。

意見文の内容は、農業が直面する後継者不足や高齢化問題等の危機や不安を感じ、子どもたちに農業を楽しんでもらうことにより、農作業が身近なものになってほしいと考えました。農業生産コースで取り組む地元保育園との交流を通じ、農業体験を企画し、園児の関心をひくために野菜クイズを実施し、興味を持てるように多くの工夫をしてきました。食育活動から得た経験をもとに、今後は農業や食を支える立場として頑張りたいというものです。

本校からは、2年連続での最優秀賞受賞となります。生徒の活躍に目を見張るものがあります。

【審査結果】 最優秀賞 生物資源科3年 大塚 鈴純さん

りずむ



【表彰式の様子】



最優秀賞 大塚さんの発表



オンライン表彰式の様子（タブレット画面）